
下水協 第7回性能確認委を開催 「ビックリート管のⅡ類資器材登録で」

日本下水道新聞 2004.10.12

日本下水道協会は9月13日、第7回下水道資器材性能確認等審査委員会を日本ヒューム熊谷工場および熊谷環境分析センターで開いた。この委員会は下水道用耐食性鉄筋コンクリート管のⅡ類認定適用資器材の指定およびビックリート管の登録審査について実施。

下水道用耐食性鉄筋コンクリート管は、7月開催の下水道用資器材認定調査専門委員会でⅡ類認定資器材の類別指定の了承、8月開催の下水道用資器材調査認定委員会で承認を得、9月1日付で認定工場制度を適用することとした。

それに伴いⅡ類資器材として登録申請があったビックリート管については、各種の性能確認等審査を行った結果、Ⅱ類に登録することとなり、10月1日付で認定工場制度適用を施行した。製造者団体名はビックリート製品協会。

ビックリート管はビック剤（防菌剤）を混和したコンクリートであるビックリートを用いたもので、硫黄化細菌による硫化劣化の防止効果が特徴。

この日は、ビックリートの概要説明と質疑応答、外観・寸法検査、ビック剤の検出試験、外圧試験、水密試験、圧縮強度試験、ビック剤の製造工程見学および化学分析実験が行われた。

その結果、各種試験で性能基準をクリアし、すでに行われていた曝露供試体の視察や後日行われた防菌剤微生物試験の確認結果と合わせて、今回の認定となったもの。



ビック剤の検出検査を行う委員会